

**2018年2月改訂(第3版)
*2011年2月改訂

日本標準商品分類番号
875200

漢方製剤

オースギ温清飲エキスG

うん せい いん
(温 清 飲)

承認番号	(61AM) 第3878号
薬価収載	1986年10月
販売開始	1986年10月

貯 法：室温保存
「取扱い上の注意」
の項参照
使用期限：容器又は外箱に表示

【組成・性状】

(1) 本剤は1日量7.5g中、下記生薬より抽出した水製乾燥エキス(温清飲エキス)4.3gを含有する。

日局 トウキ	3g	日局 オウレン	1.5g
日局 ジオウ	3g	日局 オウゴン	1.5g
日局 シャクヤク	3g	日局 サンシシ	1.5g
日局 センキュウ	3g	日局 オウバク	1.5g

添加物として、乳糖水和物、トウモロコシデンプン、ステアリン酸マグネシウムを含有する。

(2) 本剤は淡灰黄褐色～淡灰茶褐色の顆粒で、わずかににおいがあり、味は辛く、苦く、残留性である。

識別コード：SG-57

【効能又は効果】

皮膚の色つやが悪く、のぼせるものに用いる。：月経不順、月経困難、血の道症、更年期障害、神経症

【用法及び用量】

通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

(1) 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

- 著しく胃腸の虚弱な患者〔食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等があらわれることがある。〕
- 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者〔これらの症状が悪化するおそれがある。〕

(2) 重要な基本的注意

- 本剤の使用にあたっては、患者の証（体質・症状）を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。

**2) サンシシ含有製剤の長期投与（多くは5年以上）により、大腸の色調異常、浮腫、びらん、潰瘍、狭窄を伴う腸間膜静脈硬化症があらわれるおそれがある。長期投与する場合には、定期的にCT、大腸内視鏡等の検査を行うことが望ましい。

- 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

(3) 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

1) 重大な副作用

*①間質性肺炎：発熱、咳嗽、呼吸困難、肺音の異常等があらわれた場合には、本剤の投与を中止し、速やかに胸部X線、胸部CT等の検査を実施するとともに副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。

②肝機能障害、黄疸：AST (GOT)、ALT (GPT)、ALP、γ-GTPの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

*③腸間膜静脈硬化症：長期投与により、腸間膜静脈硬化症があらわれることがある。腹痛、下痢、便秘、腹部膨満等が繰り返しあらわれた場合、又は便潜血陽性になった場合には投与を中止し、CT、大腸内視鏡等の検査を実施するとともに、適切な処置を行うこと。なお、腸管切除術に至った症例も報告されている。

2) その他の副作用

	頻度不明
過敏症 ^{注1)}	発疹、発赤等
消化器	食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等

注1) このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

(4) 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

(5) 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

(6) 小児等への投与

小児等に対する安全性は確立していない。〔使用経験が少ない〕

【取扱い上の注意】

- 直射日光を避け、湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- 本剤は天然の生薬を原料としていますので、色や味等に多少の差異を生じることがありますが、効果に変わりありません。

【包装】

500g
735g (2.5g × 294包)
210g (2.5g × 84包)

【文献請求先】（お問い合わせ先）

大杉製薬株式会社 医薬情報部
〒546-0035 大阪市東住吉区山坂1-8-6
TEL 050-3776-0358